

# 第4回定例会

・審議した議案②

# 第4回定例会

・審議した議案①

【主な歳入】

- ・特定入所者介護サービス費 202万円
- 令和2年度介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
- 377万円が追加され、予算の総額が2億6248万円になりました。
- 【主な歳入】
- ・一般会計繰入金 ▲340万円
- ・前年度繰越金 717万円
- 【主な歳出】
- ・職員手当等 240万円
- 令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 485万円が追加され、予算の総額が9630万円になりました。
- 【主な歳入】
- ・現年度分普通徴収保険料 208万円
- 【主な歳出】
- ・後期高齢者医療広域連合保険料等負担金 485万円

第4回定例会が12月15日から16日の間で開催され、議案9件、同意1件、意見書1件のほか、第3回定例会で特別委員会に審査を付託した第5期総合計画の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

## 町の今後10年間の基本指針・第5期総合計画

### 「自然の恵みに感謝し、人が人を支え、共に創る、生涯の郷、サロマ」を議決

## 予算

■令和2年度一般会計補正予算(第7号)

1億998万円が追加され、予算の総額が65億5018万円になりました。

【主な歳入】

- ・社会保障・税番号制度システム整備費補助金 664万円
- ・土地・建物売却収入 153万円
- ・ふるさと応援事業寄附金 1億1000万円
- ・社会福祉事業寄附金 300万円
- ・学校図書購入費等寄附金 200万円
- 【主な歳出】
- ・財政調整基金繰入金 ▲1億6900万円
- ・前年度繰越金 1億5338万円
- ・福祉事業基金積立金 300万円
- ・ふるさと応援事業基金積立金 4000万円
- ・公金クレジット決済手数料 979万円
- ・ふるさと納税業務代行委託料 5035万円
- ・ソフトウェア使用料 193万円
- ・女満別空港整備・利用促進協議会負担金 60万円
- ・商工業活性化事業補助金 371万円
- ・商工業者経営維持支援事業補助金 248万円
- ・宿泊業活性化補助金 814万円
- ・悠林館改修工事 376万円
- ・給料(教育費・一般職) 350万円
- ・職員手当等(教育費・一般職) 160万円
- ・消耗品費(小学校) 138万円
- ・燃料費(小学校) 603万円
- ・GIGAスクールサポート業務委託料 116万円
- ・燃料費(中学校) 240万円
- 令和2年度簡易水道特別会計補正予算(第2号)
- 48万円が追加され、予算の総額が3億5364万円になりました。
- 令和2年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 425万円が追加され、予算の総額が5億3019万円になりました。
- 【主な歳入】
- ・介護給付費繰入金 ▲1765万円
- ・前年度繰越金 2163万円



### ◎女満別空港の民営化

【質問】女満別空港整備・利用促進協議会負担金60万円の内容について伺います。

また、女満別空港は民営化されましたが、民営化しても周辺自治体との関係はこれまでと同じなのか、変更点はないのか伺います。

### 【回答】

この負担金については、コロナ禍により航空各社が運航を減便していたものを元に戻していくための支援及び、本年2月から女満別と成田間で運航が始まるピーチ・アビエーションの就航誘致に関する支援を行うもので、協議会を組織する北見方面の11市町村が、空港の利用率等に応じてそれぞれの割合で負担するものです。

女満別空港の民営化の影響ですが、これまでと特に変更点はありません。

### ◎悠林館の改修工事

【質問】悠林館改修工事について、新型コロナウイルス感染症対策が目的のようですが、工事の内容は網戸の設置や宴会場の改修など感染症対策に直接関係がないようにも思われます。どの程度の改修を行うのか伺います。

また、悠林館は町の財産であり、その保全のためにはある程度の改修は必要でしょうが、その費用対効果についてどのように考えているか伺います。

### 【回答】

今回の改修工事は、北海道スタイルに準じた接客を行うためのもので、悠林館はエアコンの利用を前提としているため網戸が必要ありませんでしたが、感染症対策には換気が重要であり、1時間に1回程度、窓を開け閉めした換気を行うことから、害虫等の侵入を防ぐため網戸の設置を行います。

宴会場については、現在畳敷きの床をカーペットに改修

するもので、多人数での食事の際に、ソーシャルディスタンスを確保するため、食堂と宴会場に分かれて食事を取ってもらっておりますが、高齢者向けに椅子とテーブル等を準備すると畳を傷めてしまうことから改修いたします。

悠林館は、町の施設を指定管理委託により委託業者に経営してもらっておりますが、町の観光の誘客にはなくてはならない施設だと考えており、町による改修についてご理解いただきたいと思っております。



コロナ禍に対応した営業を行うため改修する悠林館

# 第4回定例会

・町長行政報告

■後期高齢者医療制度における高額介護合算療養費の過大支給  
前定例会で報告した過大支給について、64世帯70名に総額54万7932円の過大支給であることが確定しました。対象者の方々は、担当課長職が本人又はご家族に対しお詫びと説明を行うなどの対応を行い、全員から返納に係るご理解とご承諾を得ることができました。

今後このような事態を起さないよう、再発防止と信頼回復に努めてまいります。

■高度無線環境整備推進事業サービス提供開始予定の変更  
町内光通信サービス未整備エリアへの光ファイバ敷設事業について、令和3年3月末の供用開始を目指し進めてき

## 町長行政報告 (要旨)

■令和3年成人式の開催延期  
令和3年成人式は、1月10日に開催することで対象成人46名にご案内しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、5月2日に延期させていただきました。延期後の開催期日は、改めて対象成人にご連絡いたします。

■農業  
農産物全体の販売額は、農協の販売計画に対し14%増の17億700万円程度となる見込みです。  
酪農畜産全体の販売額は、80億6100万円程度となる見込みで、農業販売額全体では、当初計画に対し1.6%上回る97億6800万円程度となる見込みです。

■林業  
町有林は造林事業・下刈事業・素材生産事業・除間伐事業などを実施しており、国の補助金を活用しながら継続的な森林資源の保全に努めています。  
民有林は森林組合が補助制度を活用しながら、造林事業・

■公共事業の執行状況  
本年度、計画しております主な工事と委託の事業件数につきましては、64件を予定しており、現在までの発注状況は62件で7億6100万円、発注率は件数で95%となっております。  
事業発注も残りわずかとなり、多くの事業が順調に完了を迎えております。

■漁業  
外海ホタテ漁業は、計画どおり1万1000トンほどの水揚げ見込みですが、新型コロナウイルスの影響により消費が落ち込み、平均単価が下落するなど、先が見通せない状況です。  
養殖ホタテ漁業の生産数量は、計画どおりの1630トンほどが見込まれ、キロ単価は250円程度となる見込みです。  
さけ定置網漁業は、漁獲量は436トンで対前年比7%の増、漁獲額は2億8900万円と、対前年比36%増の水揚げ額となりました。  
本年の佐呂間漁業協同組合の総水揚げ額は、対前年比10%減の28億円が見込まれるとのことであります。

■商工業  
プレミアム付きふるさと商品券については、11月末現在で1万541セット、1億5811万5000円分が販売されております。  
商工業活性化補助金については13件、住宅建設事業補助金は新築1件、増改築16件、トヨタタイヤ販売促進事業は第2四半期まで327本の販売となっております。  
新型コロナウイルスの影響に伴い新たに創設した商工業経営維持補助金は、現在まで42件、988万2000円を交付しております。

■漁業  
外海ホタテ漁業は、計画どおり1万1000トンほどの水揚げ見込みですが、新型コロナウイルスの影響により消費が落ち込み、平均単価が下落するなど、先が見通せない状況です。  
養殖ホタテ漁業の生産数量は、計画どおりの1630トンほどが見込まれ、キロ単価は250円程度となる見込みです。  
さけ定置網漁業は、漁獲量は436トンで対前年比7%の増、漁獲額は2億8900万円と、対前年比36%増の水揚げ額となりました。  
本年の佐呂間漁業協同組合の総水揚げ額は、対前年比10%減の28億円が見込まれるとのことであります。

# 第4回定例会

・審議した議案③

## 条例

■町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正  
居宅介護支援事業所の管理者については、平成30年4月から、従前の介護支援専門員から主任介護支援専門員とする変更が行われましたが、人員確保が著しく困難な場合などは、介護支援専門員を管理者とすることができると経過措置が令和3年3月31日を期限として設けられました。

## その他

■公有水面埋立  
次の区域の公有水面埋立について、異議がない旨を決定しました。

- ①漁港名 浜佐呂間漁港
- ②出願者 北海道知事 鈴木 直道
- ③埋立区域 浜佐呂間859番地、浜佐呂間864番地先の公有水面 752.21㎡
- ④埋立地の用途 漁港施設用地

## 同意

■固定資産評価員の選任同意  
固定資産を適正に評価し、町長が行う価格の決定を補佐する固定資産評価員として、次の方の選任について同意し

## 第5期総合計画を議決

■第5期総合計画の策定  
第5期総合計画は、令和3年度から今後10年間の町の基本指針を定める、本町にとって最も重要な計画です。

## 意見書

■コロナ禍による地域経済対策を求める意見書  
コロナ禍の影響で、中食・外食産業が低迷し、農作物の需要が大幅に減少しており、農業を基幹産業としている北海道では深刻な問題となっていることから、国に対し農畜産物の需要喚起対策などを求める意見書を可決し、関係大臣宛に提出しました。

### 令和3年第1回定例会は3月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報3月号の折込みチラシをご覧ください。

